



# たくさんのご寄附 ありがとうございます！

2023年  
11月

市に対する10万円以上の寄附または寄贈に伴う感謝状贈呈式を行い、報道発表を了承された団体を掲載。  
※寄贈は相当額。

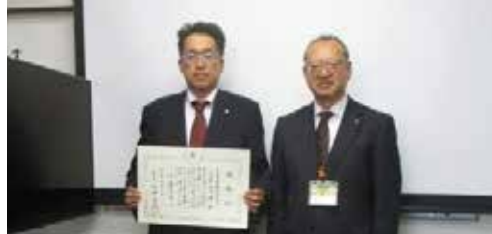
各種基金の  
詳細はこちら



市では、皆様から頂いた寄附金や寄贈品を、市政発展のため様々な事業に活用しています。これからは魅力ある旭川のまちづくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願いします。



明治安田生命保険相互会社旭川支社 様  
旭川支社長 杉下智子 様  
1,060,500円 (地域住民の健康増進に対する事業)



(株)石田兼松八興建設 様  
代表取締役社長 石田浩一 様  
1,642,300円 (大有小学校ほか4校の樹木伐採・せん定)



旭川日英協会 様  
200,000円 (動物愛護基金)



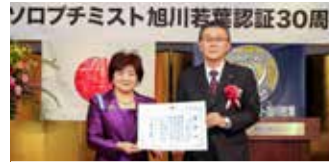
(株)騎西組 様  
391,600円 (知新小学校の樹木伐採・せん定)



大栄電設工業(株) 様  
458,150円 (愛宕東小学校の照明器具清掃・蛍光管の取り替え)



旭川地方木材協会 様  
旭川木材青年協議会 様  
336,000円 (忠別ふれあい公園の植樹28本)



国際ソロプチミスト旭川若葉 様  
496,694円 (総合庁舎キッズスペースへ絵本・科学館へプロジェクター)

## ASAHIKAWA 100 PRIDE アサヒカワ 100 プライド Vol.9

逸品編

旭川しょうゆ  
ホルメン  
(株)米谷産業

赤い丼に、軟らかいホルメンがたっぷり。旭川しょうゆが香ばしい1杯です



黒子として「ホルメン」の旗揚げに奔走した社長の米谷慈祥さん



旭川しょうゆホルメン倶楽部の事務局がある、(株)米谷産業の本社屋

### ASAHIKAWA 100 PRIDE とは？

市制が施行されてから100年超の歴史を持つ旭川市。大正から令和にかけ、地域資源を生かし、様々な産業が発展してきました。このコーナーでは、その中から「旭川発！全国・世界」へ羽ばたいている逸品をご紹介します

### 2大「ご当地グルメ」が最強タッグ

ラーメンのまち・旭川には、ホルモンを好む焼肉文化もあります。しょうゆラーメンとホルモン。この2大ソウルフードの合わせ技が「旭川しょうゆホルメン」です。旭川産しょうゆと国産コラーゲンで煮込んだ豚の直腸が、赤い丼の中で存在感を放ちます。

市内のラーメン店などでつくる「旭川しょうゆホルメン倶楽部」が平成24年から、市民や観光客に愛される存在に育ててきました。店舗とイベントを合わせ、これまで約30万食を提供。台湾の物産展でも大人気でした。

誕生の裏には、地場産業の盛り上げへ奮起した企業の存在がありました。ラード（豚脂）製造等で旭川ラーメンを支えてきた食肉加工の(株)米谷産業（永山11の2）で、素材から厳選した直腸を新開発。米谷慈祥社長は「臭くなく、甘く、軟らかい。40年超のノウハウのたまものです」と自信を見せます。情熱あふれる開発の末、ホルモンが苦手な人も驚くという味に昇華させることができました。

特製ホルモンの開発秘話は  
こちら！

